

新入生アンケートの結果に見られる 平成15年度入学生の特徴

松尾葉子^{*1} 原田徳彦^{*2} 国重徹^{*3}

The Characteristics of the Freshmen in 2003 ---An Analysis Based on the Results of a Questionnaire to the Freshmen---

Yoko MATSUO^{*1} Norihiko HARADA^{*2} Toru KUNISHIGE^{*3}

Abstract

It is four years since the school counselors' office was set up at Tokuyama College of Technology in 1999. The school counselors' office has been supporting the students proactively rather than reactively for two years. Two years ago, the office started to use a questionnaire to the freshmen inquiring about their worries, motivation to study and so on as a kind of the proactive support. The staff of the office used the same questionnaire in April this year for the third time in order to help the freshmen to adapt themselves to the new environment.

This report comparatively analyzes the results of the questionnaire given to the freshmen from 2001 to 2003 and points out some of their noticeable characteristics, putting an emphasis on three different departments they belong to.

Key Words : proactive support, reactive support, adapt, new environment, questionnaire

1. はじめに

徳山高専学生相談室では、平成13年度から「学生相談室プログラム」^{*}の一環として新入生アンケートを採用している。

この新入生アンケートの目的は、中学という義務教育機関を卒業し、高等専門学校という高等教育機関に入学したばかりの学生が、これまでと全く異なる新しい環境にできるだけうまく適応できるように援助することである。

平成13年、14年に引き続き、平成15年4月には平成15年度新入生に対して、同じアンケート

を実施した。アンケートに基づき、入学当初より悩みを抱えている学生及び入寮した新入生全員に対して個別面談を実施した。

本稿は、平成13年4月から3年連続で新入生に対して実施した新入生アンケートの結果を比較分析し、平成15年度新入生の特徴を明らかにするとともに、3年間蓄積したデータから読み取れる、学科ごとの注意すべき傾向を考察するものである。

2. 新入生アンケート

新入生アンケートは、鳴澤(1998)¹⁾の東京

^{*1} 学生課学生係

^{*2} 情報電子工学科

^{*3} 一般科目(英語)

※学生相談室プログラムについては、国重、佐々木²⁾や佐々木、国重³⁾に詳しく論じられている

都立大学新入生対象アンケートを徳山高専用に修正し作成したものである。

アンケートは平成15年4月9日の学生相談室オリエンテーションで実施した。実施方法は、学生相談室スタッフがアンケートを配布し説明を行ったあと学生に記入させ、その場で回収した。

アンケートは記名式で、全員に23の項目、寮生には6項目を追加して尋ねた。

対象は、平成15年度一年生129人(男子105人、女子24人;自宅通学生97人、寮生32人;機械電気工学科生(ME)42人、情報電子工学科生(IE)42人、土木建築工学科生(CA)45人)で、当日の欠席者1名を除く128人から回収できた。

以下に、アンケートの質問項目と回答の全てを示す。回答はパーセンテージで()内に示してある。

1. あなたは自宅から通学していますか、それとも寮生ですか。
(a) 自宅通学生(75.0) (b) 寮生(25.0)
2. あなたは中学校時代にクラブ活動に参加していましたか。
(a) はい(97.7) (b) いいえ(2.3)
3. あなたが徳山高専に進学を決定したのはいつですか。
(a) 小学生の頃(1.6) (b) 中学1年生の頃(10.9)
(c) 中学2年生の頃(21.1) (d) 中学3年生の頃(66.4)
4. 徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか。
(a) はい(89.1) (b) いいえ(10.9)
5. あなたは徳山高専の本当に入りたかった学科に入れましたか。
(a) はい(93.5) (b) いいえ(4.7)
6. あなたが徳山高専に入学した動機は何ですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。
(a) 入学しやすい(1.6) (b) いいところに就職できる(74.2) (c) 通学の便がいい(4.7)
(d) 経済的な理由(12.5) (e) 先生や親にすすめられた(28.9) (f) 自由な校風だから(39.1)
(g) 先輩・知人がいる(8.6) (h) 兄弟がいる(3.9) (i) 自分の志望に合っている(57.8)
(j) 他に入学するところがなかったから(1.6)
(k) 何となく(4.7) (l) その他(12.5)
7. あなたは中学校時代に満足のいく学校生活を送れたと思いますか。
(a) とても満足している(46.9) (b) 一応満足している(46.1) (c) あまり満足していない(6.3) (d) 全く満足していない(0.8)
8. あなたは徳山高専に入学できて満足していますか。
(a) とても満足している(55.5) (b) 一応満足している(42.2) (c) あまり満足していない(2.3) (d) 全く満足していない(0)
9. あなたが徳山高専に入学した目的は何ですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。
(a) 専門的な学問・技術を身につけるため(85.2)
(b) 教養を高め人間的に成長するため(28.1)
(c) 先生や友人と交流するため(7.8) (d) いいところに就職するため(57.8) (e) 学生生活をエンジョイするため(34.4) (f) 専攻科や他の大学に進学するため(22.7) (g) 何となく(2.3) (h) その他(3.9)
10. 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。
(a) 十分意欲がある(34.4) (b) 一応意欲がある(58.6) (c) あまりない(6.3) (d) 全くない(0.8)
11. あなたは徳山高専での勉強についていけるかどうか不安ですか。
(a) とても不安である(33.6) (b) 少し不安である(53.1) (c) あまり不安ではない(9.3) (d) 全く不安ではない(3.9)
12. 周りの新入生が自分より勉強面で優れているように思いますか。
(a) 強くそう思う(44.5) (b) 少しそう思う(39.1) (c) あまりそうは思わない(13.3) (d) 全くそうは思わない(3.1)
13. 自分には徳山高専で友人ができないのではないかと心配ですか。
(a) とても心配である(8.6) (b) 少し心配である(37.5) (c) あまり心配ではない(34.4) (d) 全く心配ではない(19.5)
14. あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい楽しみですか。
(a) とても楽しみである(53.1) (b) 少し楽しみである(41.4) (c) あまり楽しみではない(4.7) (d) 全く楽しみではない(0.8)
15. あなたは自分が将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、すでに心の中で決めていますか。
(a) はい(53.9) (b) いいえ(46.1) 無回答(0)
16. あなたは中学時代に個人的に打ち明け話をし

- たり、相談に乗ってもらえるような同性の親友がいましたか。
 (a)はい(81.3) (b)いいえ(18.8)
17. あなたは徳山高専に知り合いの人がいますか。
 (a)はい(77.3) (b)いいえ(22.7)
18. あなたは徳山高専に個人的に打ち明け話をしたり、相談に乗ってもらえるような同性の親友がいますか。
 (a)はい(43.0) (b)いいえ(57.0)
19. あなたはある程度親しくつき合っている異性の友人がいますか。
 (a)はい(44.5) (b)いいえ(55.5)
20. 今までに、反抗して親を手こずらせたことがありますか。
 (a)はい(60.9) (b)いいえ(39.1)
21. 今までに、失敗や挫折をしてすごく悩んだことがありますか。
 (a)はい(50.8) (b)いいえ(49.2)
22. 学生相談室で相談できるとしたら、あなたは次のどのような内容について相談してみたいですか。該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。
 (a) 勉強のこと(78.1) (b) 今まで知らなかった人たちとの出会いに関すること(15.6)
 (c) 家庭のこと(3.1) (d) 自分の性格のこと(16.4) (e) 心の健康に関すること(6.3)
 (f) 体の健康に関すること(7.8) (g) 性に関すること(1.6) (h) 友人関係のこと(30.5)
 (i) 恋愛に関すること(10.2) (j) 徳山高専が自分に合っているかどうかに関すること(18.8)
 (k) 進学のこと(32.0) (l) 就職のこと(40.6) (m) その他(4.7)
23. 前問で挙げてある項目の中で、「今すぐ」あなたが相談をしたい事柄があれば、その記号をすべて○で囲み、具体的に詳しくその相談内容を自由に書いてみて下さい。
- ※以下の質問には、寮生の人だけ答えて下さい。
24. 寮生活全般に関して不安を感じていますか。
 (a) とても不安である(6.5) (b) 少し不安である(80.6) (c) あまり不安ではない(12.9) (d) 全く不安ではない(0)
25. 家族から離れて一人で生活するので寂しく思いますか。
 (a) とても寂しい(0) (b) 少し寂しい(41.9) (c) あまり寂しくない(32.3) (d) 全く寂しくない(25.8)
26. 寮を出て自宅から通学したいですか。

- (a) 是非自宅通学したい(3.2) (b) 少し自宅通学したい(19.4) (c) あまり自宅通学したくない(51.6) (d) 全く自宅通学したくない(25.8)
27. 現在、あなたは寮生活に関して学生相談室で相談をしてみたいような事柄や悩みがありますか。
 (a)はい(6.5) (b)いいえ(93.5)
28. (27. で、「はい」と答えられた方へ) それはどのような事柄や悩みですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。
 (a) 一人暮らしについて(0) (b) 寮の施設・設備について(0) (c) 先輩との関係について(6.5) (d) その他(0)
29. 寮生活に関する質問や悩み、訴えたいこと、「今」何となく考えていることなど何でもかまいません。自由に書いて下さい。

3. アンケート結果に見られる主な特徴

平成15年度のアンケート結果を学科および年度で比較するため、学科ごとの平成13年度から15年度までの変化を表す。問い3：「あなたが徳山高専に進学を決定したのはいつですか。」について、中学3年と答えた割合がMEで73.2%、IEで64.3%、CAが62.2%であり、MEが昨年の57.1%に比べやや増加している。問い4：「徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか。」について、はいと答えた割合はMEが92.7%、IEが90.5%、CAが84.4%である。MEが昨年の97.6%に比べてやや減少しているが高い水準を維持している。IEは昨年の85.4%に比べやや増加している。CAは昨年の95.0%から大きく減少している。問い5：「あなたは徳山高専の本当に入りたかった学科に入れましたか。」について、いいえの割合がMEは4.9%、IEは0%、CAは8.9%である。問い6：「あなたが徳山高専に入学した動機は何ですか。」の回答候補ごとに、その項目が選択された場合を肯定、選択されなかった場合を否定としてその割合を示した。「いいところに就職できる。」を選択した割合は、MEが70.7%、IEが83.3%、CAが68.9%である。MEとIEでは肯定が年々増加しているが、CAはほぼ横ばいである。「経済的な理由」を選択した割合は、MEが14.6%、IEが14.3%、CAが8.9%である。肯定の割合はどの学科でも年々増加している。「先生や親にすすめられた」を選択した割合は、MEが34.1%、IEが35.7%、CAが17.8%

である。ME と IE は平成 14 年に落ち込み平成 15 年に戻っている。CA は年々減少している。「自由な校風だから」を選択した割合は ME が 46.3%、IE が 33.3%、CA が 37.8%であり、ME が昨年の 21.4%に比べて大きく増え、IE も昨年の 22.0%よりやや増えている。CA は昨年の 45.0%に比べやや減少しているが高い割合を維持している。「自分の志望に合っている」を選択した割合は ME が 58.5%、IE が 61.9%、CA が 53.3%である。ME は昨年の 71.4%より減少、IE は昨年の 63.4%とほぼ変わらず、CA は平成 13 年が 70.0%、昨年が 60.0%であり年々減少している。

「何となく」を選択した割合は ME が 4.9%、IE が 7.1%、CA が 2.2%である。3 年間を通して ME におけるその割合が低く、IE の割合がやや高い。問い 8 : 「あなたは徳山高専に入学できて満足していますか。」について、とても満足していると答えた割合は ME が 51.2%、IE が 57.1%、CA が 57.8%である。ME では昨年の 59.5%から減少、IE では昨年の 46.3%より増加、CA では昨年の 47.5%より増加している。問い 9 : 「あなたが徳山高専に入学した目的は何ですか。」の回答候補ごとに、その項目の選択された割合を問い 6 と同様に示した。「専門的な学問・技術を身につけるため」を選択した割合は、ME が 92.7%、IE が 95.2%、CA が 68.9%であり、ME と IE が年々増加しているのに対して、CA は昨年の 80.0%から減少している。「教養を高め人間的に成長するため」を選択した割合は、ME が 17.1%、IE が 26.2%、CA が 40.0%である。ME は昨年の 31.0%より大きく減少、IE は昨年の 19.5%よりやや増加、CA は昨年の 25.0%より大きく増加している。「先生や友人と交流するため」を選択した割合は、ME が 4.9%、IE が 7.1%、CA が 11.1%である。3 年間を通して CA が比較的高い割合である。なお、昨年に比べ 3 学科とも減少している。「いいところに就職するため」を選択した割合は、ME が 61.0%、IE が 54.8%、CA が 57.8%であり、年度による変化は各科でほぼ横ばいである。「学生生活をエンジョイするため」を選択した割合は、ME が 34.1%、IE が 26.2%、CA が 42.2%である。3 年間を通して CA における割合が高い。また、ME と IE における割合も年々増加している。「専攻科や他の大学に進学するため」を選択した割合は、ME が 4.9%、IE が 28.6%、CA が 33.3%である。ME が昨年の 28.6%に比べ大きく減少する一方、IE は昨年の 12.2%から大きく増加、CA も昨年の 17.5%から増加している。「何となく」を選択した割合は、ME が 4.9%、IE が 0%、CA が 2.2%

である。昨年度に比べ ME で増加、IE と CA で減少している。問い 10 : 「現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。」について、あまりないと答えた割合は、ME が 4.9%、IE が 4.8%、CA が 8.9%である。昨年の ME は 11.9%、IE は 14.6%、CA は 27.5%であることから、3 学科とも大きく減少している。十分意欲があるも 3 学科とも増加している。問い 11 : 「あなたは徳山高専での勉強についていけるかどうか不安ですか。」について、とても不安と答えた割合は、ME が 31.7%、IE が 33.3%、CA が 35.6%である。CA では昨年の 62.5%に比べ大きく減少している。問い 12 : 「周りの新入生が自分より勉強面で優れているように思いますか。」について、強くそう思うと答えた割合は、ME で 41.5%、IE で 42.9%、CA で 48.9%である。昨年の ME は 33.3%、IE は 34.1%、CA は 32.5%であることから、3 学科とも増加する中で特に CA の増加が大きい。問い 13 : 「自分は徳山高専で友人ができないのではないかと心配ですか。」について、とても心配であると少し心配であるを足した割合が、ME で 51.3%、IE が 57.1%、CA が 31.1%であり、CA における割合が他学科に比べ小さい。問い 14 : 「あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい楽しみですか。」について、とても楽しみであると答えた割合が、ME が 53.7%、IE が 45.2%、CA が 60.0%である。CA が昨年の 42.5%に比べ大きく増加している。問い 15 : 「あなたは自分が将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、すでに心の中できめていますか。」について、はいと答えた割合は、ME が 43.9%、IE が 54.8%、CA が 62.2%である。3 年間を通して CA が高い割合を維持しており、IE も年々その割合が増加している。

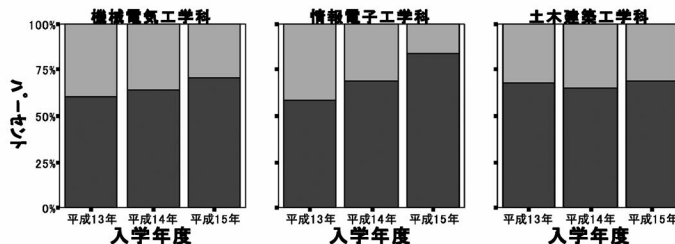
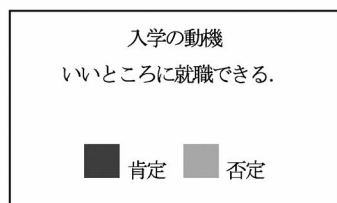
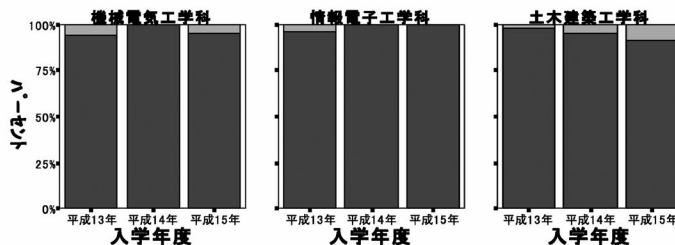
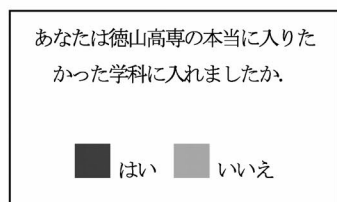
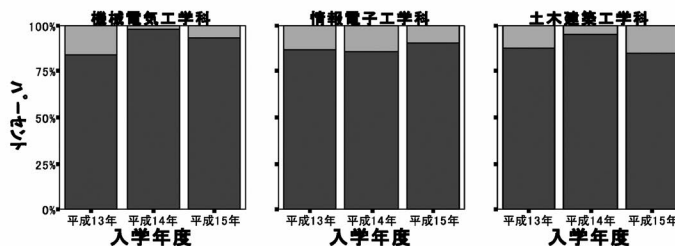
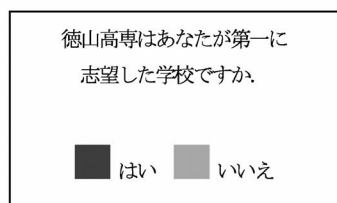
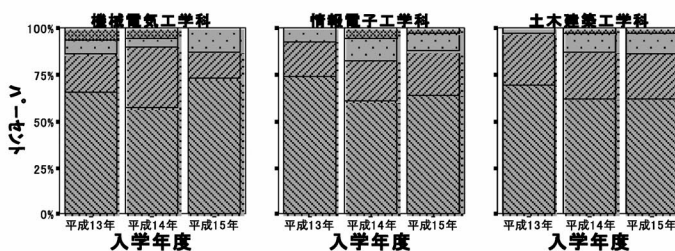
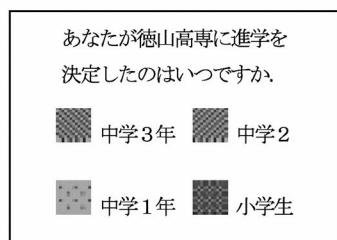
ME の新入生の特徴は、入学の目的として進学の割合が低く、専門的な学問・技術を学ぶためとする割合が高いことから、早く社会に出て実践的に活躍したいという意志のある者が多い。その反面、志望時期が中学 3 年生と答えた割合が高く、問い 22 の相談したい内容として「進学のこと」と回答した割合が 34.1%と意外に高いことから、まだこれからの自分の将来について確固たる自信が持てない者も多い可能性がある。また、志望動機として「自由な校風」を選択する割合が高い。実践的な教育と自由な校風にあこがれ志望している者が多い。

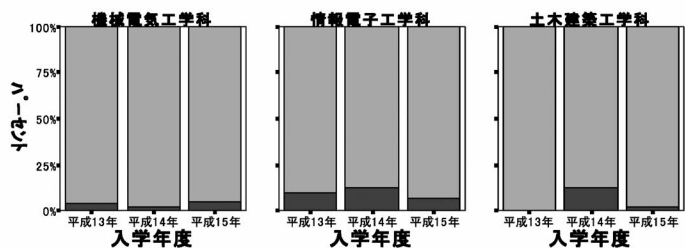
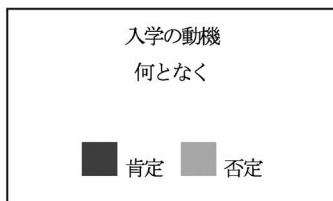
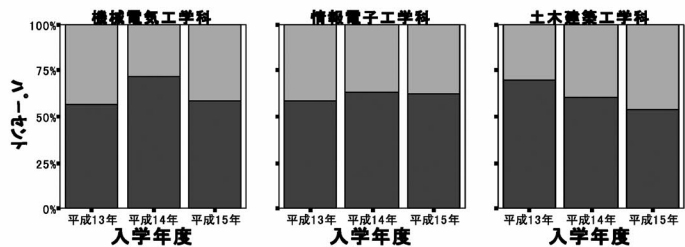
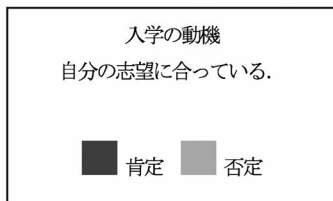
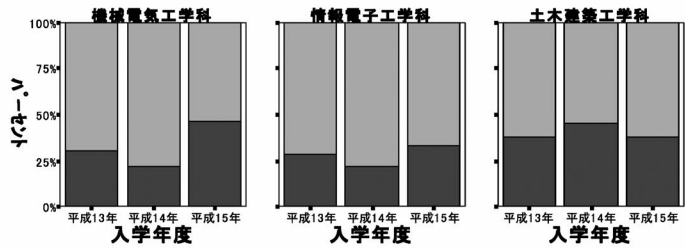
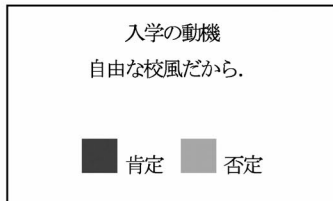
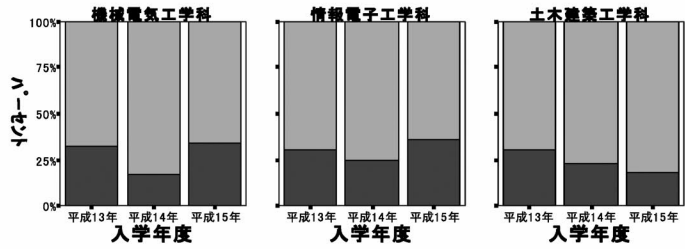
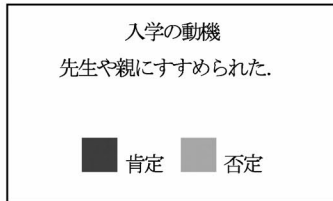
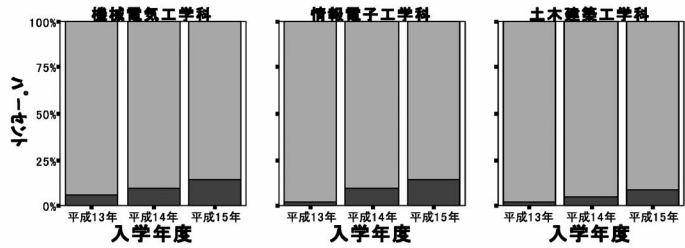
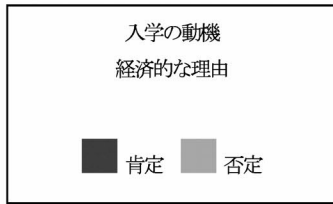
IE の新入生の特徴は、入学の目的として専門的な学問・技術を学ぶためとする割合が高く、自分の志望や将来を見据えた上で本校を志望している者が多

い。また、自由な校風を志望動機とし、学生生活を楽しみたいと望む者も年々増えてきている。

CAの新入生の特徴は、自分の将来像について早くから決めている割合は高いが、入学の動機として自分の志望に合っていると答える割合が年々減少してきている。また、入学の目的として専門的な学問・技術を学ぶためとする割合も減少し、逆に教養を高め人間的に成長したいという割合が高くなった。ま

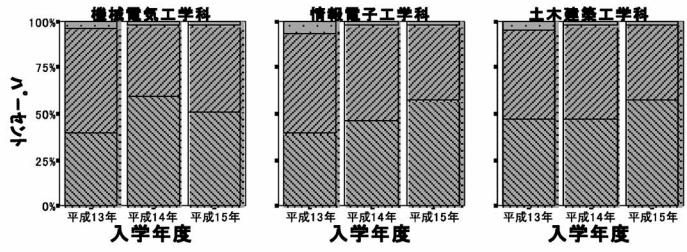
た、先生や友人と交流し学生生活を楽しまたいという意識は他学科に比べ高い。自分の将来の理想は早くから決めているが、そのために学ぶべき専門的な内容について具体的に思い描けない者が多いのではないかとと思われる。学校や学科が第一志望ではない割合も少なからずいることから、目的を見出せずにいる者もいる可能性がある。





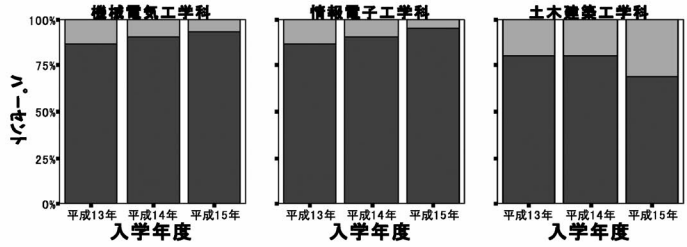
あなたは徳山高専に入学できて満足していますか。

とても満足している
 一応満足している
 あまり満足していない



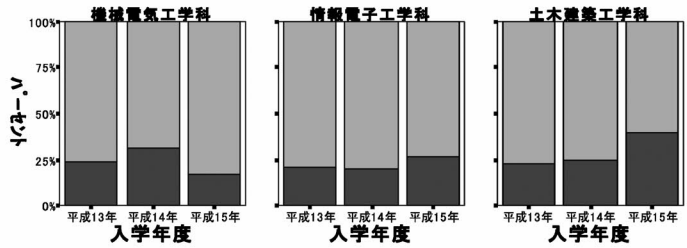
入学の目的
専門的な学問・技術を身につけるため。

肯定 否定



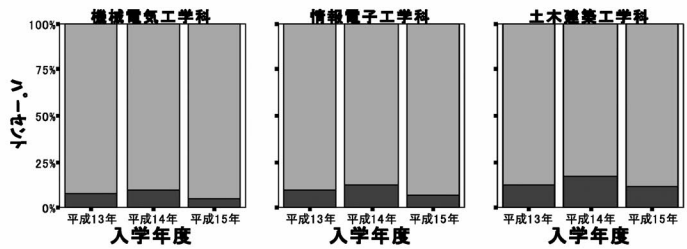
入学の目的
教養を高め人間的に成長するため。

肯定 否定



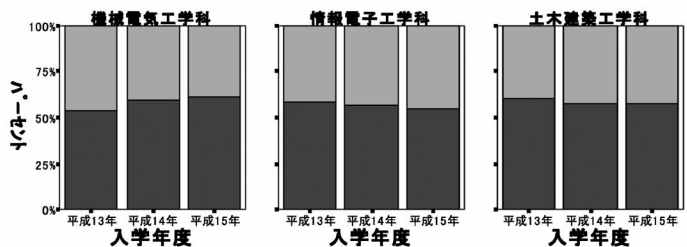
入学の目的
先生や友人と交流するため。

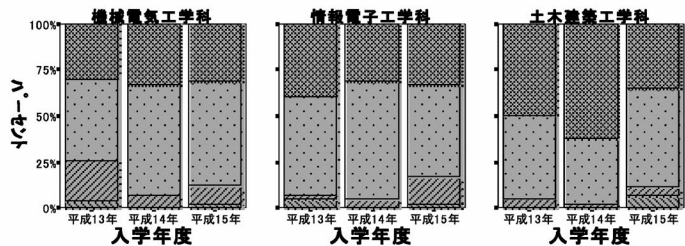
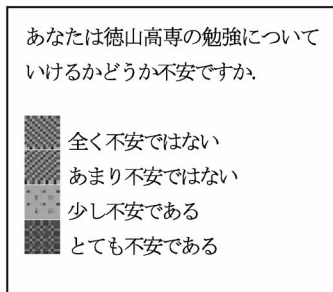
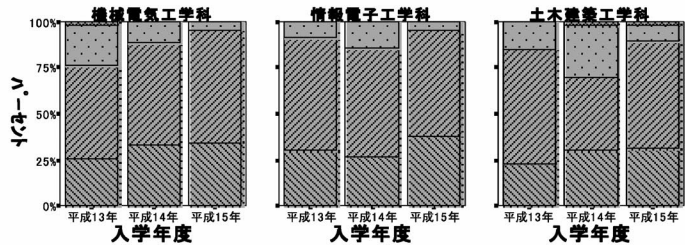
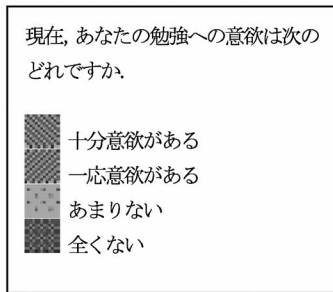
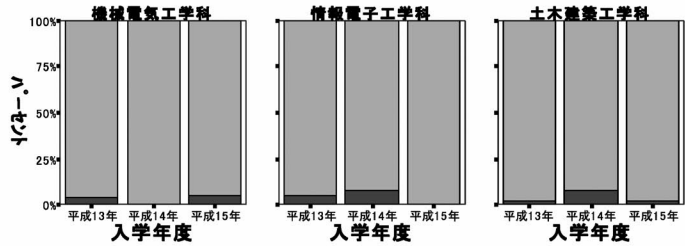
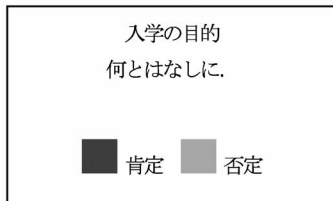
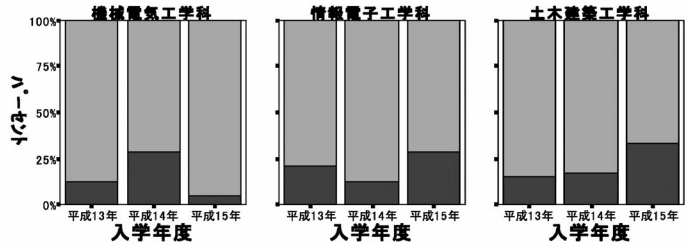
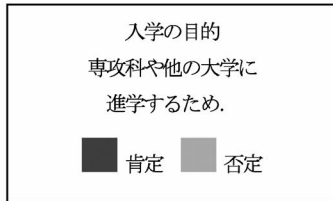
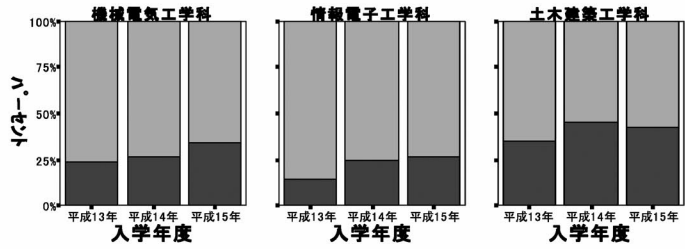
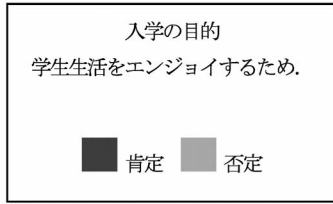
肯定 否定

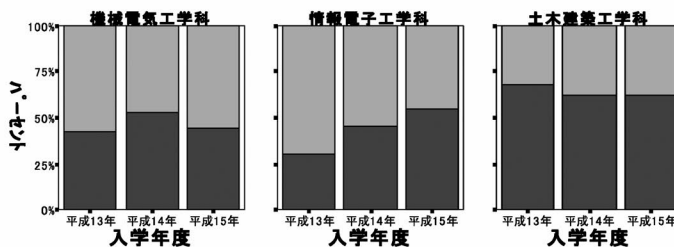
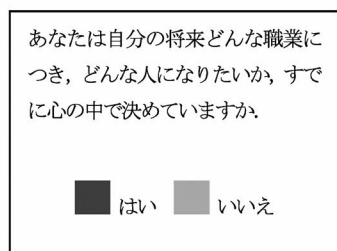
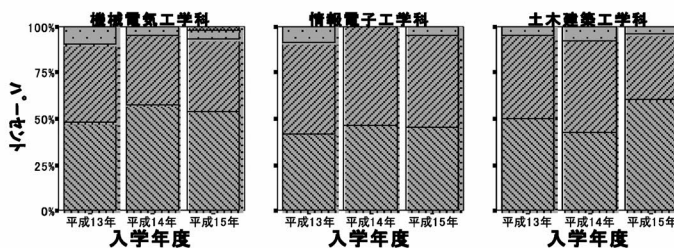
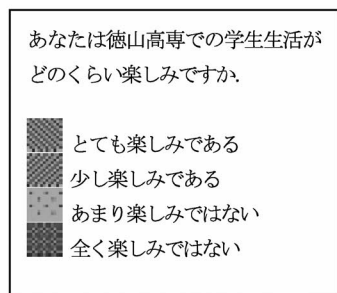
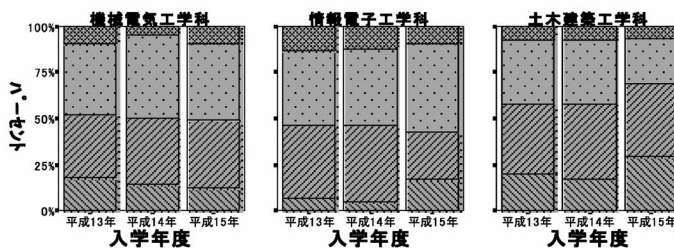
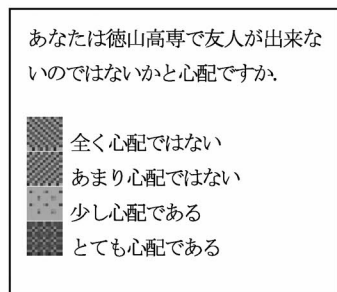
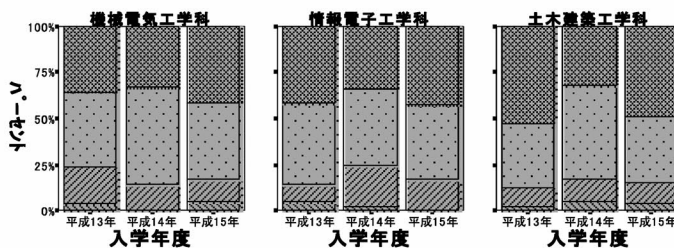
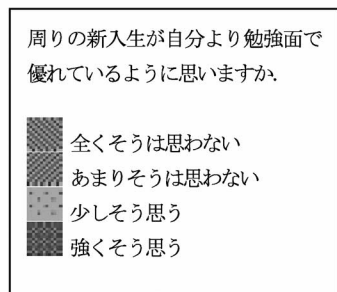


入学の目的
いいところに就職するため。

肯定 否定







4. まとめ

新入生の状況を知り、不適応要因を改善する目的で実施している新入生アンケートも、平成15年度で3回目を数える。

3年間のデータの蓄積により、各学科の特徴及び年度による傾向を明らかにすることができた。また3年間を比較することで、平成15年度新入生について特に注意すべき特徴を捉えることができ、このこ

とは今後の学生相談室における学生指導・援助の参考になると考えられる。

学生相談室では今後も新入生アンケートを継続して実施していき、この分析結果が特に各学科における学生サポートの一助になれば幸いである。

参考文献

- 1) 鳴澤 新入生の実態調査、東京都立大学学生相談

室レポート、9、PP. 6-42 (1980)

2) 国重、佐々木：新入生アンケートを活用した入学時適応援助の方策について、論文集「高専教育」、第25号、PP. 455-460 (2002)

3) 佐々木、国重：高専における学生相談の具体的活用策——心理検査を利用したキャリア・ガイダンスの試み——、論文集「高専教育」、第25号、PP. 461-466 (2002)

(平成15年9月5日受理)